

第3回 西陣・千両ヶ辻文化検定試験 (初級問題)

◇西陣・千両ヶ辻の概論について答えなさい。

- (1) 千両ヶ辻伝統文化祭は今年も、() に位置する薬師町・北之御門町・石薬師町の三町内で開催する。() に入れる最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。
(ア) 今出川通 (イ) 元誓願寺通 (ウ) 大宮通今出川上ル (エ) 大宮通今出川下ル
- (2) 地域を表す千両ヶ辻及び西陣の呼び名について最も適当なものを(ア)～(ウ)から選びなさい。
(ア) 現在上記の地域名は漠然とした言い方で使われているが、固有名詞は別として公式な住所標記には使われていない。(イ) 現在も公式な住所標記に使われている。
(ウ) 現在は忘れられた呼び名になっている。

◇歴史及び謂われ等、千両ヶ辻について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

- (3) 西陣織の中心地として江戸時代から栄えて来た千両ヶ辻の地名の由来は何か。
(ア) この地で一日千両に値する生糸・織物を商ったことから。
(イ) 江戸時代この地を掘ると千両箱が出て来たから。
(ウ) この地は両替商(金融業)中心の町であったから。
(エ) この地に京都奉行所の命により金貨等の鑄造事業を管理する出先機関があったから。
- (4) この地はいつの時代から一般に千両ヶ辻と呼ばれたか。
(ア) 江戸時代初期、寛永(1624～1643)の頃である。
(イ) 江戸時代、元禄(1688～1703)の頃である。
(ウ) 江戸時代中期以降、文化文政(1804～1829)の頃である。
(エ) 江戸時代末期、嘉永安政(1848～1859)の頃である。
- (5) 江戸時代より現代まで千両ヶ辻には()を中心に織物問屋並びに両替商(銀行)が営んでいる。(ア) 織屋(織物メーカー) (イ) 糸染屋 (ウ) 生糸問屋
(エ) 金糸屋(金銀糸を扱う糸屋)
- (6) 千両ヶ辻にある町家の格子はどのような種類が多いか。
(ア) 茶屋格子 (イ) 糸屋格子 (ウ) 米屋格子 (エ) 炭屋格子
- (7) 千両ヶ辻にある町家は京都の代表的な町家と同じく、間口が狭く奥行きが深い家が多い。それを何と呼ばれているか。
(ア) 細帯の寝床 (イ) ドジョウの寝床 (ウ) 鱧の寝床 (エ) うなぎの寝床

◇平安時代について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

貞観地震より約100年後千両ヶ辻東、一条戻り橋たもとに位置し平安時代中期創建の(8)は我が国の陰陽道の祖(9)公を御祭神としてお祀りし広く世の中の崇敬を集め、星型の五芒星の紋を神紋とされている。秀吉時代この地で自刃した千宗易(利休)邸があった。

- (8) (ア) 玄武神社 (イ) 建勳神社 (ウ) 水火天満宮 (エ) 晴明神社
(9) (ア) 惟喬親王 (イ) 安倍晴明 (ウ) 蘆屋道満 (エ) 菅原道真

- (10) 藤原氏隆盛の時代、千両ヶ辻の南方向の一条通付近には一条天皇の里内裏で中宮彰子に

仕えた紫式部が関連する一条院があった。この地は世界最古の長編小説（ 10 ）「くるま争い」ゆかりの地でもある。（ア）紫式部日記 （イ）枕草子 （ウ）源氏物語

（エ）和泉式部日記

平氏の棟梁・平清盛と源氏の棟梁・源義朝が武士の世に向けてしのぎを削った院政の時代、保元の乱の対立で敗者となり四国の讃岐（白峯）への配流の憂き目を見た（ 11 ）の御神霊を迎え慰めるため明治天皇の命により公家・飛鳥井家の跡地（今出川通堀川東入ル飛鳥井町）に明治元年白峯神宮が創建された。飛鳥井家は伝統の蹴鞠の宗家であったため蹴鞠の神である精大明神が祀られスポーツ関係（ 12 ）の守護神とされている。

（11）（ア）後白河天皇 （イ）早良親王 （ウ）崇徳上皇 （エ）淳仁天皇

（12）（ア）剣道 （イ）弓道 （ウ）柔術 （エ）球技全般

千両ヶ辻西北、糸屋八町域内の桜井町（知恵光院通り今出川上ル西側）にお宮がある。平安時代末期この地に（ 13 ）の屋敷があったとも伝承されている。平治の乱の敗者・源義朝の九男・源九朗判官義経（牛若丸）が、武芸に励み打倒平氏を誓い、平清盛の追討を逃れ奥州藤原氏を頼り平泉に赴くに際し、道中の安全をこの地の（ 14 ）に祈願して出立したと云われている。この故事により、（ 14 ）は現在も特に旅立ち、旅行の安全の信仰を集めている。

（13）（ア）藤原秀衡 （イ）金売吉次 （ウ）武蔵坊弁慶 （エ）桜井基佐

（14）（ア）三宅八幡宮の末社 （イ）首途八幡宮 （ウ）石清水八幡宮の末社

（エ）還来神社

◇ 西陣の起源について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

応仁元年（1467）京の都を焦土と化した応仁の乱が起こり細川勝元を頭とする東軍と（ 15 ）を頭とする西軍が入り乱れて戦い両陣営とも地方から続々と兵力を上洛させた。西軍の陣地は現在の堀川通五辻西入ル（ 15 ）邸跡辺りで「西陣」と云う地名の起源である。西軍の頭の名が町名として名残りを留めている。乱は11年の長きに及び古来から織物技術を継承発展してきた大舎人座を組織した工人達は戦禍を逃れて各地に離散、乱終息後工人達も再びこの地「西陣」に戻り、織物作りを再開した。（ 16 ）という名前は、西軍の本陣跡が地名の由来である。

（15）（ア）山名宗全 （イ）畠山義就 （ウ）六角高頼 （エ）斯波義廉

（16）（ア）博多織 （イ）桐生織 （ウ）西陣織 （エ）丹後ちりめん

◇ 安土桃山時代について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

千両ヶ辻と呼ばれ始められた時代の約200余年前（安土桃山時代）、この地域の近くに（ 17 ）が存在した。関白太政大臣の位についた（ 18 ）が造営し、五層の天守を持った城は「聚楽城」とも呼ばれ天正15年（1587）に完成した。天正16年（1588）秀吉は甥の（ 19 ）を関白に就任させ、その城を譲ったが、文禄4年（1595）（ 19 ）を自刃に追いやると（ 17 ）もことごとく破却しその遺構の一部は当時造営中であった伏見城とその周辺に移され一部は寺院に寄進された。結局巨大な建造物は僅か9年足らずの存在であった。

（17）（ア）二条城 （イ）聚楽第 （ウ）神泉苑 （エ）公家屋敷

（18）（ア）豊臣秀吉 （イ）豊臣秀長 （ウ）徳川家康 （エ）足利義昭

（19）（ア）豊臣秀頼 （イ）小早川秀秋 （ウ）豊臣秀勝 （エ）豊臣秀次

天正18年（1590）頃 京都にとって後世に残る大画期となった時期であった。豊臣秀吉によって寺町〔特に寺町通りや千両ヶ辻の北の方に位置する東西の通りである（ 20 ）〕の建設、町家の移転、武家町建設が行われ、更に区画整理、（ 21 ）なども加わり基本的な都市改造が完成した。（20）（ア）七本松通り（今出川通りより南） （イ）相合図子通り（下の森通り）

（ウ）寺之内通り （エ）出水通り（千本通りより西）

- (21) (ア) 御土居の完成 (イ) 高瀬川の開削 (ウ) 新政策として楽市楽座の朱印状を発行
(エ) 公認の茶店、上七軒の確立

千両ヶ辻近くに位置した聚楽第の堀を囲む一帯には諸侯諸大名等の屋敷が立ち並び現在でも多くの町名に名残りを留め、名前の一部に関係事項を町名としている。一条通大宮東入ルの如水町には (22)、飛騨殿町には (23)、栄町 (旧阿波殿町) には修理大夫阿波守・蜂須賀正勝の屋敷があったと微かに伝承されている。

- (22) (ア) 関白・豊臣秀次 (イ) 黒田・如水官兵衛・孝高
(ウ) 弾正小弼・浅野長政 (エ) 内匠頭摂津守・小西行長

- (23) (ア) 大和大納言・豊臣秀長 (イ) 征夷大將軍・徳川家康
(ウ) 飛騨守・蒲生氏郷 (エ) 山城守・直江兼次 (與六)

智恵光院通り一条上ルの橋町 (立花町) には (24)、一条戻り橋東堀川辺りの主計町には (25)、堅富田町には左近将監・富田知信、中立売通智恵光院西入ル辺りの加賀屋町には加賀大納言・前田利家、土屋町通出水上ル付近には豊臣秀勝・江 夫婦の屋敷があったと伝承されている。

- (24) (ア) 大蔵卿法印・細川幽斎 (藤孝) (イ) 左衛門大夫・福島正則
(ウ) 内大臣・織田信雄 (エ) 左近将監、飛騨守・立花宗茂 (九州の大名)

- (25) (ア) 主計頭・加藤清正 (イ) 備前宰相・宇喜田秀家
(ウ) 連歌師・里村紹巴 (エ) 安芸中納言・毛利輝元

- (26) 聚楽第の本丸の中心は千両ヶ辻から見てどの方角に存在したか、答えなさい。
(ア) 南方向 (イ) 南西方向 (ウ) 西方向 (エ) 南東方向

◇ 幕末時代、明治時代について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

元治元年 (1864) 千両ヶ辻より直線で約 1k m 東側にある京都御所の中立売御門付近で長州軍と会津・薩摩・幕府連合軍が最初に激突したと云われ、(27) が勃発した。これに拠る大火は (28) と呼ばれていた。千両ヶ辻は被害を免れた模様。

- (27) (ア) 桜田門外の変 (イ) 蛤御門の変 (禁門の変) (ウ) 戊辰戦争 (エ) 西南の役
(28) (ア) どんぐり焼け (イ) 西陣焼け (ウ) どんどん焼け (鉄砲焼け) (エ) 油小路焼け

(29) 明治 5 年 ~ 14 年に掛けて西陣の技術者の [佐倉常七・井上伊兵衛・吉田忠七 (新織法習得)] [伊達彌助・早川忠七 (織物研究)、中村喜一郎 (染法研究)] [近藤徳太郎 (織物)・今西直次郎 (製糸撚糸)・稲畑勝太郎 (染色)]、[三田忠兵衛・高松長四郎 (染色)] は、新技術習得のため (29) へ留学及び視察に向けて派遣された。習得した新技術は後年西陣及び国内繊維産業発展に大いに寄与した。 (ア) 米国 (イ) 西欧諸国 (ウ) 東欧諸国 (エ) 中国

◇ 大学について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

千両ヶ辻近く東に位置し 1875 年創立の同志社大学がある。創立者 (30) は、「真理は寒梅のごとし敢えて風雪を侵して開く」の言葉を残している。女子塾・同志社女学校の開設、教育に尽力した夫人の (31) は、(32) 藩の武家に育ち戊辰戦争 (1868) では城に籠城、断髪・男装して自らスペンサー銃を持って奮戦した。

千両ヶ辻より東西半径 2k m に位置する衣笠校地と旧広小路校地を有していた、1900 年創立の立命館大学は創立者中川小十郎、学祖は大正昭和の最後の元老であった (33) である。

- (30) (ア) 山本覚馬 (イ) 新島襄 (ウ) 榎村正直

- (31) (ア) 津田梅子 (イ) 下田歌子 (ウ) 新島八重
 (32) (ア) 桑名 (イ) 長州 (ウ) 土佐 (エ) 会津
 (33) (ア) 松方正義 (イ) 西園寺公望 (ウ) 伊藤博文

◇ 京都に於ける世界文化遺産について

- (34) 千両ヶ辻から半径 2.5km 以内にある下記の社寺仏閣及び史跡で世界文化遺産の指定を受けているものを四つ選びなさい。
 (ア) 下鴨神社 (イ) 大徳寺 (ウ) 北野天満宮 (エ) 金閣寺 (オ) 龍安寺
 (カ) 仁和寺 (キ) 妙心寺 (ク) 相国寺 (ケ) 二条城 (コ) 京都御所

◇ 西陣織に関する問題

(35) 西陣織産地では現在帯地・着尺・ネクタイ・金襴・ショールマフラー・室内装飾織物が生産されている。主に生産されている帯地の種類を取り上げたが、西陣織産地で生産されていないものを答えなさい。

- (ア) 袋帯 (イ) なごや帯 (ウ) 袋なごや帯 (エ) 丸帯 (オ) 兵児帯

(36) 西陣織産地は (35) を生産する産地である。

- (ア) 繭 (イ) 生糸 (ウ) 白生地 (エ) 先染め織物 (オ) 後染め織物

<参考> 白生地とは生成り糸で織った染色加工用の生地。先染め織物は糸を染めてから織った織物。

後染め織物は白生地を染めた織物。

◇ 京都出身のアーティストとスポーツ選手を列挙したが、西陣地域にゆかりのある人物を八人選びなさい。

- (37) (ア) 加藤登紀子(シャンソン歌手) (イ) ツトムヤマシタ(打楽器奏者) (ウ) 杉田二郎(フォーク歌手) (エ) 都はるみ(歌手) (オ) 尾崎亜美(シンガーソングライター) (カ) 清水和音(ピアニスト) (キ) 幸田來未(歌手) (ク) 山口伊太郎・安次郎(織物作家) (ケ) 人間国宝・曾和博朗(能囃子方 幸流・小鼓) (コ) 人間国宝・北村武資(織物作家) (サ) 三田村宗二(町家画家) (シ) 水野克比古(写真家) (ス) 近藤正臣(俳優) (セ) 段田安則(俳優) (ソ) 佐々木蔵之助(俳優) (タ) 安田美沙子(俳優) (チ) 柱谷幸一・柱谷哲二(Jリーグ元監督・Jリーグ監督) (ツ) 奥野僚右(Jリーグ監督) (テ) 宇佐美貴史(サッカーオリンピック代表) (ト) 海堀あゆみ(サッカー日本代表・銀) (ナ) 中道 瞳(バレー日本代表・銅)

◇ 芸術・文化について最も適当なものを (ア) ~ (オ) から選びなさい。

千両ヶ辻から 1 km 東北及び東に位置する茶道の三千家があり、武者小路通小川東入ルには武者小路千家(茶室官休庵)がある。小川通寺之内上ルには裏千家(茶室今日庵)、その南側には表千家があり茶室 (38) がある。現在の表千家 家元は十四代千宗左(而妙斎)である。

- (38) (ア) 燕庵 (イ) 如庵 (ウ) 待庵 (エ) 密庵 (オ) 不審庵

表千家、裏千家の西向いに日蓮宗 叡昌山 (39) があり、本阿弥光悦作庭よる国の名勝「三巴の庭」があり、(40) の筆による縦約 10m、横約 6mの「仏涅槃図」(重文)等多くの重要文化財がある。

- (39) (ア) 本隆寺 (イ) 本満寺 (ウ) 立本寺 (エ) 本法寺

- (40) (ア) 長谷川等伯 (イ) 狩野永徳 (ウ) 狩野探幽 (エ) 海北友松

【出題者 仲 治實 (大文字屋治實)】